

Supermileage Car Challenge HIROSHIMA 2013 チーム紹介

1 チームファイアボール (愛知県)

昨年念願の 3,000km/?オーバーを達成しましたが、活動拠点と現場でのセッティングのズレが他の大会でも気になっていました。目指す記録が上がるほどセッティングを外すことが多くなっている気がします。そこで、FBもようやく現場用負荷ローラーを製作しました。活動拠点用負荷ローラーは 90kg 近くありますが、現場用は 28kg と軽量化し、(積み込みを 1 人でする場合もありますから)フレームは分割でき、(マシン移動用台車を利用し、台車に戻すこともできます)これで全トライ 3,000km/?オーバー目指します。昨年より使用しているラジアルタイヤですが、今年はチューブレスに挑戦です。時間がなく、1 本しか持ち込めないかもしれませんが、タイヤテスト機での比較では今までのベストを記録しています。ラジアルタイヤの安定供給が見込めないので、一番お手軽なバイクリム改造で挑戦してみました。それでは今年もよろしくお願いいたします。



2 KIT エコランプロジェクト A(金沢工業大学) (石川県)

KIT エコランプロジェクト A は、1997 年発足し、燃費記録は、2012 年に stradale の 2546.0km/l が過去最高記録で、目標は 2700km/l です。私たちは現在毎日のように各班作業に明け暮れ、エコランと勉強の両立など、忙しい毎日を過ごしています。ですが金沢工業大学エコランプロジェクトメンバーは一丸となり、毎日楽しんで活動しています。今年も多くの新メンバーが入り総勢



52 名となりました。エコランで培ってきた知識を stradale に活かし、本大会に向け毎日努力しています。車体は昨年同様 stradale をベースとしたカーボンモノコックを採用、35cc のエンジンを搭載しています。今年度の改良点でプロジェクトの取り組みとしては、シリンダ・ピストンに二硫化モリブデンショット、ピストンリング・ピストンピンに DLC コーティングを行い、フリクションロスの低減に取り組まれました。そして点火角度の最適化を行いました。今年は去年の記録を超えることはもちろん、目標である 2700km/l 超えを目指して頑張ります!!



今年は去年の記録を超えることはもちろん、目標である 2700km/l 超えを目指して頑張ります!!

81 Clean Diesel Team(但馬技術大学校 自動車部)(兵庫県)

兵庫県立但馬技術大学校自動車部の車両は、ガソリンエンジンよりも熱効率の高いディーゼルエンジンで省エネカーレースに挑戦しています。使用燃料は、代替ディーゼル燃料のFAME(バイオディーゼル燃料)を使用しています。既存の形にとらわれず、自由な発想で高効率技術や環境技術にアプローチし、学校で学んだ知識や技術の実践の場としています。



活動は国内に留まらず、海外の大会にも出場しています。7月にマレーシアで開催される“Shell eco-marathon Asia”で4年連続クラス優勝を目指しておりましたが、ヘイズによる大気汚染で痛恨の開催中止となりました。

今回の広島大会では、そのフラストレーションをエネルギーに変え、2,500km/Lを超えられるようがんばります。また、ガソリンエンジン上位陣と少しでもよい戦いができればと考えております。余談ではありますが、来年2月にフィリピンで開催される“Shell Eco-marathon Asia”にエントリーしています。広島での記録更新を弾みに世界大会に臨めれば最高です。

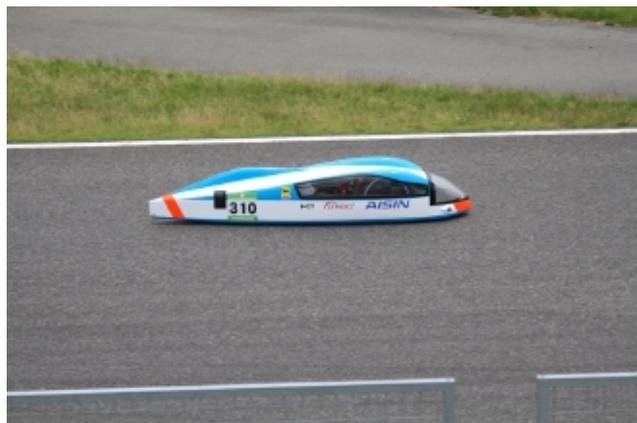
最後になりましたが、当方の活動を支援して下さるサポート企業の皆様、当校同窓会様ありがとうございました。

4 Team With You (愛知県)

愛知県の Team With You です。

今年で9回目の参加になります。何故かこの大会では2002年の1209km/Lから始まって昨年まで毎回記録を更新できています。これは二日間で多くのトライができる広島大会ならではの結果です。

今年はドライバーの体力が続く限り？記録更新にチャレンジしたいと思います。また、



いくつかのテーマを持って本大会に臨み、今後の活動につながる貴重なデータ取りの機会にしたいと考えています。結成15年目の節目ということもありメンバー全員燃えています。中年には厳しい暑さですが夜の部も含めて二日間楽しみたいと思います。

5 名城大学 Nova(愛知県)

名城大学の2台ある車両の1台である Nova は作られてからもう十年近い年月がたっています。それでもまだ現役で各大会大で活躍をしています。しかしさすがに十年近くたっているのでカーボンが変色したり、ボディで傷が付いているところが多数あったので去年、車体全体の修復作業を行いました。カウルの欠けている個所をパテなどを補修し、ボディの色はエコをイメージして黄緑色にしま



した。さらに、特殊なホイールを使用したり、内装面ではドライバーがより運転しやすいように、改良しました。その甲斐あって、ホンダエコマイレッジ 2013 鈴鹿大会では大学、高専、専門学校部門では1位をとることができました。

今大会では前回の Nova の最高記録である 2140km/l を超える記録を狙っていきます。

6 名城大学エコノパワークラブ (愛知県)

MEGV - 2004 は現在名城大学で1番新しい車体です。デザインの方は前にも聞いたことがある人がいると思いますが、名古屋城の鯨鯨から、シャチのようなデザインにしています。今年はエンジンの改良とフレームの補強を行いました。



エコマイレッジチャレンジ鈴鹿大会では同じクラブの Nova に優勝を取られてしまったので、今回の広島大会では大学クラス優勝を狙って

いきたいです。記録面でもこの車両が持つ最高記録を超えるように頑張りたいです。

7 みみっちーず (滋賀県)

皆さんこんにちは、みみっちーずです。

今年の鈴鹿大会は4年越しに完走し記録も613Km/Lでした。前回トラブルが出たクラッチもいい感じになりました。ただ、車重が重いので、早急に作り直しをしたいと思います。今回も皆さん、よろしくお願いいたします。



8 teamしょーよー (熊本県立翔陽高等学校)

紹介文なし

9 江津工業高等学校 A チーム(島根県)

江津工業高校 自動車部 A チームです。2年生のみで構成されたチームです。

昨年の経験をもとに新しい車を作り直してのエントリーです。デザインは往年の江津工業高校の車を参考にしていますが、最新の素材を使い、軽量化したり、フレームのぐらつきを無くすような工夫をしています。

また、体の大きな男子高校生でも乗れるような少しゆったりとしたスペースを確保しました。(空気抵抗は増えると思います…)

ブレーキも改良して、確実に停止するようになりました。

この車で昨年の記録を更新したいです。



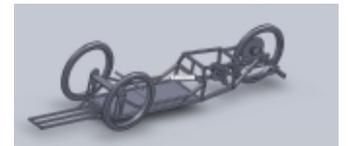
10 松江高専 NO FEAR (島根県)

紹介文なし。



11 松江高専 NO LIMITS (島根県)

紹介文なし。



12 KIT エコランプロジェクトB(金沢工業大学) (石川県)

KIT エコランプロジェクトBはG.E.ALTiCで参加します。G.E.ALTiCは03年～07年までプロジェクトで使用されていた車体で、燃費2487km/lの記録を持っています。去年から下級生を中心として今大会への出場を目指して始動しました。フレームとカウルだけだった車体を走行できる状態にするまでにたくさんの苦労がありました。メンバー全員の努力で走行できるまでになりました。目標燃費記録は2000km/lです。ALTiC班全員の全力を出し切ります！



13 江津工業高等学校 B チーム(島根県)

江津工業高校 自動車部 B チームは、1年生のみで構成されたチームです。このチームはこの大会

が初めての大会です。未熟なチームですが、いい結果が出せるように頑張りたいです。B チームの目標は、先輩の A チームを超えることです。初参加なので、記録が残せるように頑張ります。

14 大牟田高校 飛翔 (福岡県)

8月4日に行われたホンダエコマイレッジチャレンジ九州大会が中止となり、本大会が、今年唯一の大会となりました。

広島大会では、自己記録を更新し 1300km/リットルを目指したいと思います。今年の秋から7年ぶりに新車作成を計画しているの、各チームの車両を参考にさせて頂きたいと思います。会場では宜しくお願いします。



15 久留米高等専門学校 Kurume-FC Eco (福岡県)

今年度から燃料電池車に挑戦しています。車両は以前、MITUBA 様が EV として使用していたマシンを FANCY CAROL さんと共同で改造中の心臓移植改造マシーンです。燃料電池は水素を燃料とするクリーンな動力であり、内燃機関と比較して燃料の動力変換効率が高く、次世代自動車用動力源としてたいへん期待されています。将来的には燃料電池車が有している燃費世界記録のガソリン換算 5385km/L に挑戦したいと思っています。



16 呉港高等学校 エコテック (広島県)

単三電池 40 本を動力としたマシンで、鈴鹿の国際コース 5.807km を走行するマシンを製作しました。本大会でゲスト走行させていただき、車両性能評価、レースマネジメントの実践練習をさせていただきます。



98 Fancy Carol (広島県)

今年は、メンバーが鳥人間コンテストの機体製作に夢中になり、(滑空機3位)エコランはほとんど何もしていないまま、本大会を迎えました。長年の経験を生かして、本来のポテンシャルを最大限発揮するよう走行したいと思います。

